



常磐地区協議会主催

隅田川庁舎前で宣伝行動を取り組む

3月5日、隅田川貨物庁舎前で常磐地区協議会主催の宣伝行動が開催された。支部で作成した春闘チラシは、賃金、安全問題やみどりの窓口削減問題。車イスの対応も要員削減の中で結局、利用者を待たせる事につながっている等を訴え、常磐の地から、24春闘諸行動がスタートした。宣伝行動終了後、本部中央行動参加のために新橋SL前広場へ向かった。



国労はJR利用者が 安心して利用できる駅を求めています

みどりの窓口が大幅削減

JR東日本では「みどりの窓口」がどんどん減らされています。「券売機」で発売できる切符の種類を増やしたり、「えきねっと」による対応をしていますが、券売機などは操作がわかりにくく、結局お客さまはコールセンターに確認しながら切符を買っています。コールセンターに駅員を置くなら、みどりの窓口を充実させた方がよほど親切です。



また、最寄り駅の窓口が廃止となったため、わざわざ運賃を支払い近隣駅の窓口へ駆け込むお客さまもいます。しかしそこには長蛇の列が...

これって本当にサービスといえるのでしょうか？

障害者が安心して利用できる駅に

最近、無人駅や委託駅が増えています。利用者の皆さんは不便を感じていませんか？

車イスの対応などは警備会社に委託している駅も多くなっています。特に新宿駅などでは車イスで移動されるお客さまを長時間お待たせするケースもあります。これも車イスの対応をする人員が足りていないからです。



これでは、障害を持っている方々は安心して駅をご利用いただくことができないのではないのでしょうか。

国鉄労働組合は、すべてのお客さまが安全かつ安心して駅を利用できるよう、会社に対して「必要な人員を配置」するよう求めています。

